

令和5年度インターンシップ(夏期実習生)受入事務所一覧

※各事務所の詳細につきましては、お手数ですが関東地方整備局HPにてご確認ください。(https://www.ktr.mlit.go.jp/soshiki/index00000012.html)

※受入情報については、変更する事があります。

事務所名	郵便番号	住所	電話	受入可能期間						業務内容等	勤務地(課等)
				7.31~8.4	8.7~10 (4日)	8.21~25	8.28~9.1	9.4~9.8	実施期間		
関東地方整備局 企画部	〒330-9724	埼玉県さいたま市中央区新都心2-1	048-601-3151	○	○	○	○	○	4日間	関東地方整備局企画部は、地域づくり、各事業間調整、防災、広報、景観、環境に関する総括、事業評価、工事・業務の積算基準、入札・契約に関する技術的な事項、電気通信、機械設備に関する業務、技術者の育成などを担当しています。 ・夏期実習では、河川・道路に関する機械設備・建設機械類の運用に関すること、電気通信施設の運用及び保守に関すること、官庁施設の電気設備・機械設備整備に関することを学習することが可能です。を学習することが可能です。 ・電気通信・電気通信施設について概要を知ると共に、実際に現場で実物を目にした上で、その計画、運用、保守について学習することが可能です。また、DXの取り組みについても学び、体験することが可能です。	企画部(情報通信技術課、施工企画課)、営繕部(整備課)
関東地方整備局 営繕部	〒330-9724	埼玉県さいたま市中央区新都心2-1	048-601-3151	○		○			5日間	・関東地方整備局営繕部は、国の機関に係る施設の企画及び計画、計画された施設の整備、既存施設が良好な状態で使用されるための保全指導等を行っています。 ・現在は、文京区と連携し施行している小石川合同庁舎の整備や先進的な技術を取り入れた総務省第二庁舎の耐震改修、歴史的建築物に係る保存・改修事業等を推進しています。 ・これらの事業を推進するために、各省庁や自治体等の関係機関と連携を図りながら取り組んでおり、実際の設計業務における受注者との打合せ、事業計画における課題整理やBIMを使用して施工計画の確認等を学習することが出来ます。また、歴史的建築物については、保存改修方法や特殊な施工方法等を見学することが出来ます。	関東地方整備局 営繕部
利根川上流河川事務所	〒349-1198	埼玉県久喜市栗橋北2-19-1	0480-52-3952			○	○		5日間	・利根川上流河川事務所は、日本一の流域面積を有する利根川の整備や管理を行っています。・当事務所では、令和3年に策定された「利根川・江戸川流域治水プロジェクト(利根川上流区間)」を推進しているところです。 ・本プロジェクトは、国・県・市町村等が協働し、施設整備等のハード対策や避難態勢の確保等のソフト対策を進めるとともに、河川空間の自然環境の保全・創出についても進めているところです。 ・また、利根川上流河川事務所では、今年度より治水対策の一環として、洪水調節施設(調節池)の増強についても着手していることから、流域治水プロジェクトの各種対策や治水対策についても学習することが可能です。	利根川上流河川事務所 計画課 流域治水課
利根川下流河川事務所	〒287-8510	千葉県香取市佐原4-14149	0478-52-6361	○	○	○	○	○	5日間	・利根川下流河川事務所は、一級河川利根川(約85km(取手～銚子))、北千葉導水路等の整備や管理を行っています。 ・整備にあたっては、関係機関と連携を図り、流域治水プロジェクトとして利根川下流部において堤防のない区間の堤防整備や河川内の浚渫工事を進めており、整備に関する目的、最新土木技術の施工に触れることができます。また、維持管理においては、実際に河川バトローカーに乗車して日常管理の目的、必要性等について体験学習をすることができます。 ・地域との連携としては、下流部の沿川中学生に対して、利根川を環境学習のフィールドとして活用していただき、鳥類、魚類等の学習の支援を行っています。	利根川下流河川事務所
霞ヶ浦河川事務所	〒311-2424	茨城県潮来市潮来3510	0299-63-2411			○	○	○	5日間	・霞ヶ浦河川事務所は、霞ヶ浦(常陸利根川、横利根川、霞ヶ浦(西浦)、鵜川及び北浦の5河川の総称)の管理を行っています。 ・事業内容としては、霞ヶ浦沿岸地域の安全、安心に向けて、堤防未整備区間の堤防整備を行ったり、堤防除草や河川管理施設の点検整備を行い、霞ヶ浦の適正な管理を行っています。・また、清らかで豊かな湖沼環境を目指して、湖岸植生を保全・再生する自然再生地のモニタリング調査を行ったり、湖岸堤防に側帯整備を行い、リバースポットとして地域活性化を図っております。 ・当事務所においては、無堤部地区の対策や波浪対策の整備、日頃の河川堤防の維持管理などを学習することが出来ます。	霞ヶ浦河川事務所 総務課
江戸川河川事務所	〒278-0005	千葉県野田市宮崎134	04-7125-7311	○	○	○		○	5日間	・江戸川河川事務所は、一級河川の江戸川及び中川、綾瀬川の整備や管理を行っています。 (流域治水課) ・事務所では、都市・地域再生等利用区域指定により、首都圏外郭放水路利活用協議会において、首都圏外郭放水路を観光資源として活用し、国の防災施設として日本初となる民間運営による社会実験見学会を実施しています。 (防災対策課) ・首都圏外郭放水路の広報対応として、全国の行政機関や海外からの視察対応を実施しています。・現在は、河川防災ステーションの整備や、社会全体で水害に備える「水防災意識社会再構築ビジョン」推進のため、減災に係わる取り組みについて、実施しています。 ・災害に備えるための事業や、防災・減災のための沿川自治体と一帯となった取り組みなどを学習することが出来ます。	江戸川河川事務所 流域治水課 防災対策課
渡良瀬川河川事務所	〒326-0822	栃木県足利市田中町661-3	0284-73-5551			○	○	○	5日間	・渡良瀬川河川事務所は、渡良瀬川の中下流域で河川の整備・管理を行うと共に、上流域で砂防事業を行っていますので、河川と砂防の二つの公共事業を体験することが出来ます。 ・通常の河川工事は出水期間中は休業となりますが、砂防工事は通年施工となっていますので、河川事務所でありながら夏期でも工事現場を確認する事が出来ます。 ・現在「中橋架替え」という国・栃木県・足利市が共同で行う事業を実施中であり、国と地方自治体との共同事業を確認することが出来ます。	渡良瀬川河川事務所
下館河川事務所	〒308-0841	茨城県筑西市二木成1753	0296-25-2161	○	○	○			4日~10日間	下館河川事務所は、一級河川の鬼怒川・小貝川の整備や管理を行っています。 当事務所では、流域治水プロジェクトを推進しており、堤防工事及び河岸の侵食対策、樋管改築などを実施し、治水安全度の向上を図っています。 インターンシップでは、工務、流域治水、維持管理に関する業務を体験、工事現場の見学等をするともに、河川流量調査、河川水質及び水生生物調査等について体験してもらう予定です。	下館河川事務所 流域治水課
荒川上流河川事務所	〒350-1124	埼玉県川越市新宿町3-12	049-246-6371	○	○	○	○		5日間又は10日間	・荒川上流河川事務所は、一級河川荒川と入間川などの支川の整備や管理を行っています。 ・当事務所では、令和元年東日本台風により被災した入間川流域において、再度災害を防止するための緊急治水対策プロジェクトに取り組んでおり、埼玉県や流域自治体などの関係機関と協力・連携を図りながら事業を推進しております。 ・また、気候変動の影響を踏まえ、激甚化・頻発化する水災害に対応するための、「流域治水」として、施設管理者だけの対策ではなく、流域のあらゆる方にあらゆる場所で治水対策を行っていただくことにも力を入れて取り組んでおります。 ・地域の安全・安心を守るために行う、河川の工事などの現場での取組や大雨の時に河川事務所ではどのような対応を行っているのかなど、河川事務所が実施している防災・減災に向けた取組を学習することが出来ます。	荒川上流河川事務所 流域治水課
荒川下流河川事務所	〒115-0042	東京都北区志茂5-41-1	03-3902-2311	○	○	○	○	○	10日間	荒川下流河川事務所は、一級河川荒川の整備や管理を行っています。 調査・計画、設計から実際の工事に至るすべてのプロセスにおいて、地元のニーズや地域の課題をふまえながら河川管理全体の業務を体験していただけます。 ・荒川を知る！ ・荒川を調べる！ ・災害リスクを知る！ ・河川利用ルールを知る！ ・ハード対策(工事)を知る！ ・首都東京の安全で持続可能なかわまちとづくりを考える！ ・河川管理DXを体験する！	荒川下流河川事務所 各担当課
京浜河川事務所	〒230-0051	神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央2-18-1	045-503-4000	○	○	○	○	○	5日間	京浜河川事務所は、一級河川のも摩川・鶴見川・相模川の整備や管理を行っています。 当事務所では、緊急治水プロジェクト及び流域治水プロジェクトを推進しており、河道掘削、堤防工事などを実施し、治水安全度の向上を図っています。 インターンシップでは、も摩川・鶴見川の計画や流域治水、維持管理に関する業務の体験が可能です。	京浜河川事務所 流域治水課・流域調整課
利根川水系砂防事務所	〒377-8566	群馬県渋川市渋川121-1	0279-22-4177	○	○	○	○	○	5日間又は10日間	・利根川水系砂防事務所では、利根川の上流支川である片品川・吾妻川・烏川・神流川について直轄砂防事業を、群馬・長野県境に位置する浅間山では、直轄火山砂防事業を行っています。また、群馬県藤岡市藤原地区では直轄地すべり対策事業を行っています。 ・砂防調査・工事の現場体験・実習や山間部の荒廃状況、環境に配慮した取り組みを現場で生活する事で、砂防に対する理解を深め、土砂災害防止に関する意識を向上することが出来ます。 ・BIM/CIM活用やICT施工、無人化施工、遠隔現場、UAVの活用などDX推進に関しても取り組んでおり、担当者による講義や工事現場での実習等を通して学ぶことが出来ます。	利根川水系砂防事務所 調査課
利根川ダム統合管理事務所	〒371-0846	群馬県前橋市元総社町593-1	027-251-2021			○		○	4日間	・利根川ダム統合管理事務所では、直轄4ダム(藤原、相模、園原、八ッ場ダム)のダム維持・管理を行っています。 ・また、当事務所では日々の流況を監視し、予測、補給を行う統合管理により、利根川上流9ダムの有効かつ効率的な水運用を行っています。日々の流況監視や予測、補給計画の立案など低水管理について学習する事ができます。(利根川上流9ダムとは、直轄4ダムの他、渡良瀬貯水池、水資源機構4ダム(矢木沢、奈良俣、久下保、草木)を含めた上流9ダム群です。) ・ダム管理とは、ダム放流に係わる操作などの他、点検・維持・補修、改良などもあり現在、相模ダムの堰堤改良工事(ダムに穴を開けて新しい放流設備を設置する。)が施工中ですのでダムの改良工事を視察し学習する事ができます。 ・その他、ダム周辺の地域振興や環境調査などにも力を入れている事から地域振興についての取り組み、環境調査なども学習する事ができます。	利根川ダム統合管理事務所
鬼怒川ダム統合管理事務所	〒321-0905	栃木県宇都宮市平出工業団地14-3	028-661-1341	○	○	○	○	○	4~5日間	栃木県日光市内には、利根川流域における洪水発生時の被害軽減と、平常時に必要な河川の流量確保を目的とした、五十里ダム、川俣ダム、川治ダム、湯西川ダムが設置されています。 この4つのダムは、いずれも高さ100mを超えるダムの管理を宇都宮市内にある統合管理事務所と、ダムに隣接した管理支所が連携することによって、ダム放流設備の操作、管理を行っています。 実習では、ダム管理の基本となる河川流量等の観測、情報収集により得られる各種データの分析、ダム放流方法の伝達など、4つのダムが実際に操作されるまでの過程を学習することができます。 また、ダムが正常に機能するために欠かすことのできない施設の日常点検と、近年脚光を浴びているインフラツーリズムの観光資源としての役割も持つダムの広報活動についても体験できます。	鬼怒川ダム統合管理事務所、川俣・五十里・川治・湯西川ダム管理支所

事務所名	郵便番号	住所	電話	受入可能期間					業務内容等	勤務地(課等)	
				7.31~8.4	8.7~10(4日)	8.21~25	8.28~9.1	9.4~9.8			実施期間
荒川調節池工事事務所	〒338-0837	埼玉県さいたま市桜区田島8-17-1	048-767-6041	○					5日間又は10日間	・荒川調節池工事事務所は、日本の人口の1割の人が住む荒川流域を水害から守るため、荒川第2・第3調節池の整備を進めています。 ・現在は、荒川調節池関係の計画検討・調査・設計業務及び、インフラ分野のDXも活用した調節池に関係した堤防などの工事が進んでいます。併せて、荒川調節池に関する広報なども進めています。 ・首都圏を守る河川事業の現場を体験することができます。	荒川調節池工事事務所 事業計画課
東京国道事務所	〒102-8340	東京都千代田区九段南1-2-1 九段第3合同庁舎15	03-3512-9090	○	○	○	○	○	5日間	・東京国道事務所では、東京都23区内の一般国道1号、4号、6号、14号、15号、17号、20号、246号、254号、357号の整備や維持管理などを行っています。 ・当事務所の特徴として、鉄道やバス、タクシーなど多様な交通モードがつながる集約型公共交通ターミナルを、官民連携で「まちづくり」と一体となって整備する「バスタプロジェクト」を推進している事が挙げられます。 ・東京都23区内の道路の維持管理や、集約型公共交通ターミナルを官民連携でまちづくりと一体となって整備する「バスタプロジェクト」について学習することができます。	東京国道事務所
相武国道事務所	〒192-0045	東京都八王子市大和田町4-3-13	042-643-2001	○		○			5日間	・相武国道事務所では、東京都内の多摩地域及び神奈川県内の相模原圏域の一般国道16号、20号の整備や維持管理などを行っています。 ・一般国道20号のバイパスである八王子南バイパス事業、日野バイパス(延伸)事業をはじめとする道路事業の調査、計画、設計や施工管理などを学習することができます。 ・維持管理分野においては、日常管理(パトロール等)や構造物点検、また、防災・減災、国土強靱化の取り組みである法面対策工事や橋梁耐震補強工事などを学習することができます。 ・八王子南バイパス事業における館第二トンネルでは、周辺に医療施設や文教施設があるため開削工法を用いた施工を行っている現場を学習することができます。	相武国道事務所 計画課
首都国道事務所	〒271-0072	千葉県松戸市竹ヶ花86	047-362-4111				○		5日間	首都国道事務所では、国道298号(東京外環)を中心に、6号、14号、357号、464号(北千葉道路)など、首都圏東南部の道路ネットワークを整備しており、調査計画、設計、工事、維持管理など、道路事業の様々な工程を学習・体験することができます。	首都国道事務所 計画課
川崎国道事務所	〒213-8577	神奈川県川崎市高津区梶ヶ谷2-3-3	044-888-6411	○	○		○	○	5日間	・川崎国道事務所では、東京都・神奈川県内の一般国道15号、16号、246号、357号等の調査や整備を行っています。 ・厚木環状道路や多摩川トンネル事業をはじめとする道路事業の調査、計画、設計や施工管理などを学習することができます。 ・特に多摩川トンネル事業では、大規模な立坑の施工を行っており、厳しい現場条件の中で行っている土木の最先端技術に触れることも出来ます。 ・また、結節点(バスタ)の検討にも取り組んでおり、関係者との協議や所内での検討などを経験することができます。	川崎国道事務所 計画課
横浜国道事務所	〒221-0855	神奈川県横浜市神奈川区三ツ沢西町13-2	045-311-2981			○	○		5日間	・横浜国道事務所では、神奈川県内における一般国道1号、15号、16号、246号、357号及び409号の整備・維持管理を担当するとともに、首都圏の交通円滑化、効率的な人流・物流の確保、災害時の代替路等を確保するため神奈川県横浜市等自動車専用道路の整備を進めています。 ・特に首都圏中央連絡自動車道(圏央道)では、地固に残る事業として、大規模なシールドトンネルや数々の橋梁をゼネコンの方々を合わせて整備を進めていますので、発注者が行う監業業務を通じて、大規模な施工現場を直に触れ、様々な施工方法を見ることが出来ます。 ・また、全国の一般道で一番交通量の多い国道16号保土ヶ谷バイパス等における維持管理では、日常管理(パトロール等)や構造物点検などをデジタル技術(DX)も活用しながら効率的に行っていることに触れ、国民生活に欠かせない重要な道路を守っていることを体験することができます。	横浜国道事務所 計画課 調査課 道路管理第二課 工事調整課 予定
大宮国道事務所	〒331-9649	埼玉県さいたま市北区吉野町1-435	048-669-1200				○		5日間	・大宮国道事務所では、埼玉県内の一般国道4号、16号、17号の整備や維持管理などを行っています。 ・新大宮上層道路事業をはじめとする道路事業の調査、計画、設計や施工管理などを学習することができます。 ・維持管理分野においては、日常管理(パトロール等)や構造物点検(歩道橋・橋梁等)などを学習することができます。 ・歩道橋の補修を施工中であり、厳しい現場条件の中で行っている土木現場に触れることも出来ます。 ・インフラ分野のDXにも取り組んでおり、日々のパトロールにおいてデジタル技術を取り入れ、社会資本や公共サービスの変革に取り組んでいます。	大宮国道事務所
北首都国道事務所	〒340-0044	埼玉県草加市花栗3-24-15	048-942-4041			○	○		5日間	・北首都国道事務所は、埼玉県東部地域に位置する国道4号東埼玉道路の整備や、国道468号首都圏中央連絡自動車道(圏央道)4車線化(埼玉県・茨城県内の一部区間)の整備、国道298号東京外かく環状道路(外環道)(埼玉県内)の維持管理などを行っています。 ・東埼玉道路では調査設計のほか用地取得、工事を推進しているところであり、圏央道の4車線化では橋梁工事や改良工事などを進めています。 ・外環道では、道路の維持管理のほか、事故や渋滞対策として交差点改良、橋梁の老朽化対策や耐震補強工事などを実施しています。 ・道路事業における調査設計から工事、管理まで、幅広く学習することができます。	北首都国道事務所 工務課、管理課、計画課
千葉国道事務所	〒263-0016	千葉県千葉市稲毛区天台5-27-1	043-287-0311	○	○	○	○	○	5日間又は10日間	・千葉国道事務所では、千葉県内の一般国道6号、16号、51号、127号、357号等の整備や維持管理などを行っています。 ・圏央道事業では、令和6年度の開通を目標に様々な工法を用いた施工を行っており、厳しい現場条件の中で行っている土木の最先端技術に触れることも出来ます。 ・国道の地下立体化で創出された地上部の道路空間を活用し、社会実験イベントを行うなどまちづくりの活性化にも取り組んでいます。	千葉国道事務所
常総国道事務所	〒300-0033	茨城県土浦市川口1-1-26 アーバンスクエア土浦ビル	029-826-2040	○			○	○	5日間	・常総国道事務所は、東関東自動車道水戸線(東関東水戸線)、国道6号牛久土浦バイパス(BP)および首都圏中央連絡自動車道(圏央道)の事業を行っています。 ・東関東水戸線は、重要港湾群(鹿島港、茨城港)や国際拠点である成田国際空港、茨城空港へのアクセス向上や常磐自動車道、国道51号の災害時の代替路線の確保を図る事業です。国道6号牛久土浦BPは、牛久市、土浦市周辺市街地の交通混雑の緩和、交通安全の確保及び圏央道へのアクセス向上を目的としたバイパス事業です。圏央道は、茨城県内が暫定2車線で全線開通し、産業や観光へのストック効果が現れ、更なる生産性向上へのストック効果の発現に資するべく、東日本高速道路株式会社とともに4車線化事業を推進しています。 ・この3つの事業について、現在、工事を推進しており、実際に工事現場に行き、道路を作り上げる過程を学ぶことができます。また、当事務所では、工事着手前の用地取得や設計も行っているため、道路が完成するまでに必要な流れも学ぶことができます。	常総国道事務所 計画課
宇都宮国道事務所	〒321-0931	栃木県宇都宮市平松町504	028-638-2181					○	5日間	・宇都宮国道事務所では、国道4号、50号の整備や維持管理などを行っています。 ・GISソフトを使った実習、ドローンを使った映像配信、改築事業や橋梁保全などに関わる工事現場や鋼橋製作工場など見学することができます。	宇都宮国道事務所 計画課
長野国道事務所	〒380-0902	長野県長野市鶴賀字中堰145	026-264-7001	○	○	○	○	○	5日間又は10日間	・長野国道事務所では、長野県内の中部横断自動車道をはじめ国道18号、19号、20号及び権限代行により158号の整備や維持管理などを行っています。 ・また公園課においては、国営アルプスあづみの公園の整備や維持管理を行っています。 ・中部横断自動車道や諏訪バイパス事業における道路の調査・計画から他の事業における設計・施工管理、また維持管理分野(日常管理・点検等)まで、広く道路事業の流れを学習することができます。 ・下諏訪岡谷バイパス事業における山田トンネルでは、安全及び近隣住民に対する振動・騒音への配慮を行いながらNATM工法による施工を行っており、普段立ち寄ることのできないトンネル掘削現場で様々な技術に触れることができます。 ・公園事業については、公園の魅力アップへの取り組み、環境問題への対応を学ぶことができます。	長野国道事務所 工務課・計画課
東京外かく環状国道事務所	〒158-8580	東京都世田谷区用賀4-5-16 TEビル7階	03-3707-3000				○	○	5日間	・東京外かく環状国道事務所は、「東京外かく環状道路(開越道～東名高速)」の約16kmの整備を担当しております。 ・大深度地下方式で、沿線地域の環境に与える影響を抑え、時間短縮や生活道路の安全性向上、環境改善、災害時の迂回機能などの整備効果が見込まれる事業です。 ・そうした大規模事業の工事段階における、工事現場、関係機関協議、調査・設計コンサルタントとの打合せ、保全対策や環境整備など、公共事業の進め方、行政の取り組みなどについて学んでいただきます。	東京外かく環状国道事務所 計画課、調査第一課、調査第二課
常陸河川国道事務所	〒310-0851	茨城県水戸市千波町1962-2	029-240-4061	○	○	○			4日間	河川事業 ・常陸河川国道事務所は、一級河川那珂川、久慈川の整備や管理を行っています。 ・現在は、令和元年東日本台風により被災した那珂川の緊急治水対策プロジェクトに特に力を入れて推進しています。 ・このプロジェクトを推進するために、那珂川の沿川自治体などの関係機関と協力・連携を図りながら取り組んでおり、遊水地整備や霞堤整備などのハード対策のほか、ソフト対策についても学習することができます。 ・ソフト対策では、インフラ分野におけるDXの推進の一環として、堤防の越水・決壊を感知するセンサーの活用により、河川の氾濫発生情報の発表の迅速化を図っています。	常陸河川国道事務所 流域治水課
				○		○		○	5日間	道路事業 ・常陸河川国道事務所では、茨城県内の国道6号、50号、51号の整備や維持管理を行っています。 ・道路事業の調査、設計に関係すること、工事現場の監督作業、道路管理パトロールなど国土交通省の道路に関する業務体験を行うことができます。	常陸河川国道事務所 調査課
高崎河川国道事務所	〒370-0841	群馬県高崎市栄町6-41	027-345-6000			○			5日間	河川事業 ・高崎河川国道事務所は、一級河川烏川、神流川、鏡川、碓氷川の整備や管理を行っています。 ・当事務所では、利根川・江戸川流域治水プロジェクト(烏川・神流川区間)を推進しており、築堤事業や樋管工事のハード対策工事に加えて、多段階の浸水想定図や水害リスクマップなどのソフト対策などにも取り組んでいます。 ・このプロジェクトを推進するために、自治体や企業などの関係機関と協力・連携を図りながら取り組んでおり、河川事業や防災・減災対策などを学習することができます。 道路事業 ・河川の維持管理においては、除草作業や河川の巡視、河川の水位、水質、環境調査等を学習することができます。 ・高崎河川国道事務所では、群馬県内の一般国道17号、18号、50号の整備や維持管理などを行っています。 ・上武道路をはじめとする道路事業の調査、計画、設計や施工管理などを学習することができます。 ・維持管理分野においては、日常管理(パトロール等)や構造物点検などを学習することができます。 ・渋川西バイパスにおける地盤改良工事では、ICTを活用した施工を行っており、土木の最先端技術に触れることも出来ます。	高崎河川国道事務所 工務第一課(河川2名) 計画課(道路2名)

事務所名	郵便番号	住所	電話	受入可能期間						業務内容等	勤務地(課等)		
				7.31~8.4	8.7~10 (4日)	8.21~25	8.28~9.1	9.4~9.8	実施期間				
甲府河川国道事務所	〒400-8578	山梨県甲府市緑が丘1-10-1	055-252-5491	○	○					5日間	<ul style="list-style-type: none"> ・甲府河川事務所は、河川、道路の事業を行っている事務所です。 ・河川事業では一級河川富士川、釜無川、笛吹川の調査及び計画、河川環境調査、施設(排水機場・樋管・堤防)の管理等を行っています。 ・道路事業では山梨県内の中部横断自動車道、国道20号、52号、138号、139号の整備や管理を行っています。 ・インフラ分野のDXにも取り組んでおり、各種事業の設計、施工、現場管理等においてデジタル技術を取り入れ、社会資本や公共サービスの改革に取り組んでいます。 	甲府河川国道事務所(担当課は未定)	
国営常陸海浜公園事務所	〒312-0012	茨城県ひたちなか市馬渡字大沼605-4	029-265-9411	○	○	○				5日間	<ul style="list-style-type: none"> ・国営常陸海浜公園事務所では、ひたち海浜公園内の整備や管理運営などを行っています。 ・公園の管理運営は当事務所のほか、管理委託している公園財団やPFI事業者等と分担・連携しながら進めています。 ・公園を安心安全に利用していただけるよう、利用者目線に立ち、関係者との協議・調整や造園工事、イベントの準備の施工現場などを経験することが出来ます。 ・公園利用者の満足度向上や、より効果的な広報戦略を打ち出すための様々な取り組みを行っています。 	国営常陸海浜公園事務所	
国営昭和記念公園事務所	〒190-8558	東京都立川市緑町3173	042-524-1516	○		○	○			5日間	<ul style="list-style-type: none"> ・国営昭和記念公園事務所は、「国営昭和記念公園」、「国営武蔵丘陵森林公園」、「国営東京臨海広域防災公園」、「明治記念大磯邸園」4つの公園の整備・管理を行っています ・現在、開園40年を迎える国営昭和記念公園では、施設の老朽化や、周辺で行われている民間事業者等によるまちづくりなど、本公園を取り巻く状況の変化により昭島口周辺エリアを対象に、効果的・効率的な整備・管理運営による魅力向上を目的とし、官民連携による再整備事業を推進しています。 ・全国初の国営公園として閉園した国営武蔵丘陵森林公園では、効率的な維持管理のあり方について検討を行っています。 ・明治記念大磯邸園では、伊藤博文邸跡など明治期の立憲政治の確立等に関する歴史的遺産の保存、活用を図るため整備を進めています。 ・国営東京臨海広域防災公園では、首都圏で大規模な地震災害等は発生したとき、国の緊急災害現地対策本部が設置される場所となりますが、平時においては防災体験学習施設「そなエリア東京」を管理運営し、現在、展示施設の設計、更新作業を進めています。 当事務所では、公園における日常管理の他、このようなプロジェクトに触れることができます。 	国営昭和記念公園事務所	
東京第二営繕事務所	〒135-0062	東京都江東区東雲1-9-5 東雲合同庁舎5階	03-3531-6550							○	最大3日間	<ul style="list-style-type: none"> ・東京第二営繕事務所は官庁施設の営繕工事並びに保全の実地指導をしています。 ・若手職員と一緒に監督業務、調査、会議などの仕事を体験します。 ・官庁施設を見学します。 	東京第二営繕事務所 技術課
宇都宮営繕事務所	〒320-0043	栃木県宇都宮市桜5-1-13 宇都宮地方合同庁舎	028-634-4271							○	3日間	<ul style="list-style-type: none"> ・宇都宮営繕事務所は、栃木県及び茨城県(つくば市を除く。)において、官庁施設の整備(建設に関する企画、工事等)と保全指導(維持管理に関する助言、情報提供等)を行っています。 ・官庁施設という鉄筋コンクリート造のイメージが強いかもしれませんが、当事務所では今年度、木造建築の工事も予定しています。 ・インターンシップでは、主に監督職員の業務を体験してもらうこととなりますが、発注者側の立場から工事に関わるようになるため、受注者(設計者、施工者等)側の立場とは違った体験ができます。 ・当事務所には技術系職員として建築職、電気職、機械職が在籍しているため、夏期実習生の専門(建築、電気、機械)に応じてテーマを設定します。 	宇都宮営繕事務所技術課
鹿島港湾空港事務所	〒314-0021	茨城県鹿嶋市粟生2254	0299-84-7712			○	○	○			5日間	<ul style="list-style-type: none"> ・鹿島港湾・空港整備事務所では、港湾整備にかかるケーソン製作や消波ブロック据付、航路泊地の浚渫等を行っており、港湾空港部の事務所の中でも特に「THE・港湾」の仕事をしています。 ・また、国内における洋上風力発電に係る基地港湾の1つに選定されており、鹿島港外港地区において基地港湾の整備を推進しています。 ・重厚長大な風車部材の荷役や仮組みを効率的かつ安全に実施するための岸壁整備と地耐力強化を行っており、国内では数少ない洋上風力発電基地港湾の整備に至る過程や転換する工事の進め方、施工中の課題対応などについて学習することが出来ます。 	鹿島港湾・空港整備事務所 第三建設管理監室
千葉港湾事務所	〒260-0024	千葉県千葉市中央区中央港1-11-2	043-243-9172				○	○			5日間	<ul style="list-style-type: none"> ・千葉港湾事務所は、国際拠点港湾の千葉港をはじめ、重要港湾である木更津港や地方港湾を所管しております。 ・現在、港湾事業として、千葉中央地区の岸壁整備や葛南中央地区の航路付帯設備の整備を行っています。 併せて、海岸事業として、船橋地区の海岸保全施設の整備も行っていきます。 ・また、海洋環境整備事業とし、当事務所所有船による東京湾のゴミ回収や東京湾の環境モニタリングも行っていきます。 ・港湾や海岸の整備によらず、東京湾の環境に関することが学習することができます。 	千葉港湾事務所
東京港湾事務所	〒136-0082	東京都江東区新木場1-6-25	03-5534-1362				○				5日間	<ul style="list-style-type: none"> ・東京港湾事務所では、東京港の整備を行う事務所として、平成14年に設置された事務所です。 ・東京港は、日本初のコンテナターミナルが誕生(1967年供用)以来、コンテナ化がすすみ、1998年以降24年連続で外資コンテナ取扱個数が国内1位の日本を代表する国際コンテナ港湾として、北米、欧州、オセアニア、東南アジア、中国などの数多くの港と定期航路で結ばれており、首都圏の経済や日常生活を支える港として重要な役割を担っています。 ・その一方、コンテナ貨物増加への対応、コンテナ船の大型化などの課題解決のため、中央防波堤外側地区国際海上コンテナターミナル整備事業を実施している。水深16mを有する岸壁2バース(Y2バース・Y3バース)と臨港道路を整備するものであり、令和2年には、Y2バースと臨港道路を供用させ、現在は、残りのY3バースの早期供用をめざし整備を進めています。 ・東京港のコンテナターミナルに行き、実際に稼働中の施設を見ることが出来ます。 	東京港湾事務所
東京空港整備事務所	〒144-0041	東京都大田区羽田空港3-3-1	03-5757-2074			○	○				5日間	<ul style="list-style-type: none"> ・東京空港整備事務所は、東京国際空港(羽田空港)における滑走路・誘導路・エプロン等における耐震化や舗装改良、空港アクセス鉄道の整備等を実施しています。 ・航空機の運航への影響を最小限にするため、厳しい現場条件の中で整備を進めています。 ・現在は、空港アクセス鉄道の準備工事、第1・第2ターミナル地区での耐震改良、旧整備場地区の駐機場の整備が行われており、大規模な工事を間近で経験することができます。 	東京空港整備事務所 第一工務課
京浜港湾事務所	〒220-0012	神奈川県横浜西区みなとみらい6-3-7	045-226-3740	○	○						5日間又は4日間	<ul style="list-style-type: none"> 横浜港では我が国に寄港する基幹航路の維持・拡大を図るため、コンテナターミナルの再編整備を進めています。 また、川崎港において、コンテナターミナルでの貨物取扱量の増加やロジスティクス機能の充実に伴う将来交通量の増大に対応し、円滑な物流を確保するため、東扇島地区と内陸部を結ぶ臨港道路を整備しています。 ・岸壁や護岸となるケーソン・鋼板セルといった巨大な構造物の製作や大型の作業船による海上工事について学習することができます。 ・川崎港の臨港道路では中央径間の大きさは全国で第3位、東日本では第1位の長大斜長橋の施工に関する学習することができます。 ・現場における実習だけでなく、実務についている若手の職員から採用後の仕事や職場環境について、意見交換する場を設ける予定です。 	京浜港湾事務所 各課
東京湾口航路事務所	〒238-0005	神奈川県横浜須賀町13	046-828-8366	○							2日間	<ul style="list-style-type: none"> ・東京湾口航路事務所では、東京湾内で船舶が安全に航行できるように航路の整備や管理を行っています。 ・100年以上も前に建設された軍事遺構である第二海堡が大規模地震で崩壊したときに航路に支障を与えないよう、護岸整備工事を現在行っています。 ・また航路管理として、航路内に支障物が無いかなど、航路調査船でバロールを日々行ったり、航路の必要水深が確保されているかの管理測量を航路調査船により実施しています。 	東京湾口航路事務所 整備課 航路管理課
横浜港湾空港技術調査事務所	〒221-0053	神奈川県横浜市神奈川区橋本町2-1-4	045-461-3892	○	○						5日間	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜港湾空港技術調査事務所では、関東地方整備局港湾空港部で管轄する関東エリアにおける港湾・空港及び海岸整備に関する調査・設計・技術開発・環境整備などを進めています。多様化するニーズに対応し、事業を円滑かつ効率的に推進するための港湾空港部門における総合技術センターとしての役割を果たしています。 ・主な業務としては、港湾・空港・海岸整備に関する各種の調査、設計及び設計業務を支援する水理模型実験、事業を効率的に進めるための多様な技術開発、並びに環境保全と環境整備を図るための調査や技術の開発、東京湾域の水質調査などを行っています。 ・港湾空港に関する調査(防災、水理模型実験等)、設計(港湾・空港施設の設計等)、環境(東京湾の海域環境等)を幅広く実習することにより、行政における調査等業務の理解を深めることができます。また、当事務所にある港湾施設と海の生物が共存できるよう考えた人工干潟「潮彩の渚」での調査・試験を学習できます。 	横浜港湾空港技術調査事務所
関東道路メンテナンスセンター	〒330-0843	埼玉県さいたま市大宮区吉敷町1-89-1 効ビル2階	048-600-1417			○	○	○			5日間	<ul style="list-style-type: none"> 関東道路メンテナンスセンターでは、直轄国道における橋梁等の健全性の診断等を担当するほか、蓄積されたメンテナンスデータの管理・分析による劣化予測やアセットマネジメントによる道路メンテナンスの高度化の推進、道路メンテナンスに係る地方公共団体支援を行っています。 【橋梁や歩道橋の点検・診断(技術第一課、技術第二課)】 ・大学やご実家の近くの身近な橋梁等をはじめとするインフラの構造物の点検や診断の仕組みやその実態を知っていただくことができます。 ・ドローン等を活用したインフラ点検業務にも取り組んでおり、(天候や時期にもよりますが)ドローンの運転を体験していただくこともできます。 【道路情報統合化GISプラットフォームの構築・改良(技術企画課)】 ・実際に、GISプラットフォームや各種データベースを操作していただき、大学やご実家の近くの身近な構造物の点検・補修状況の確認や、異常事象が発生した場合を想定しての模擬訓練を体験することができます。 	関東道路メンテナンスセンター 技術第一課